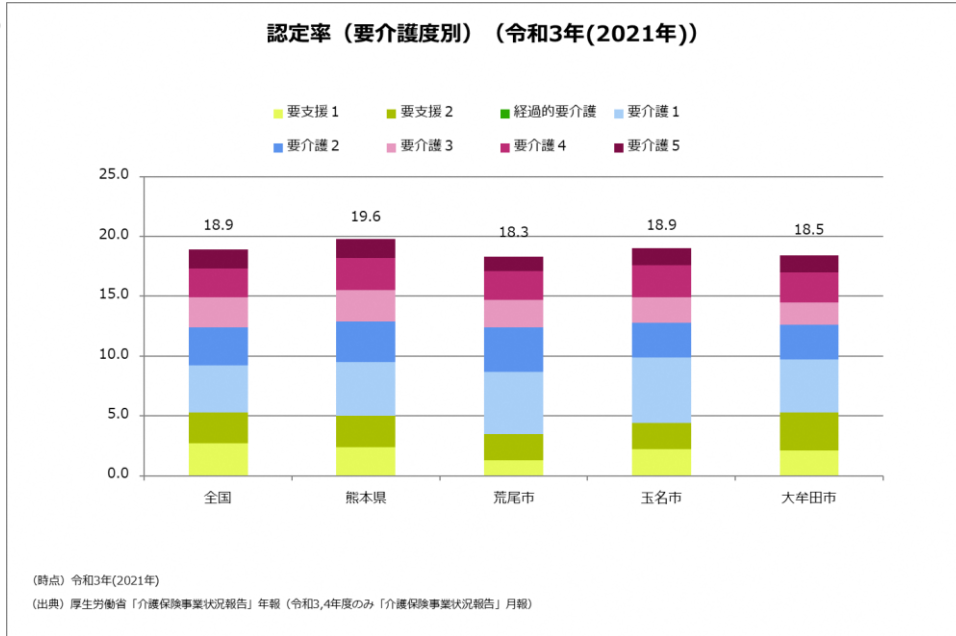


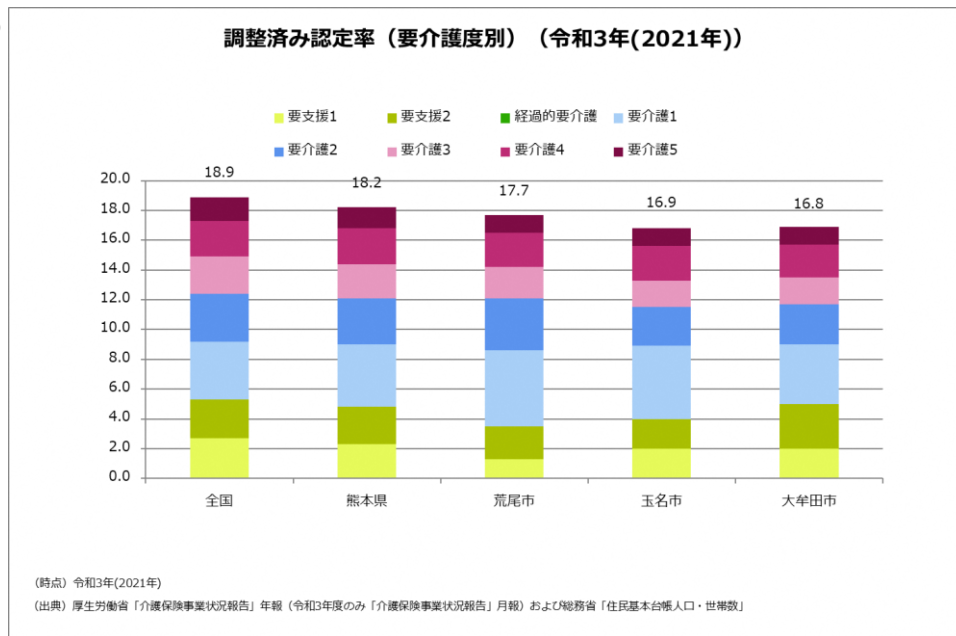
荒尾市の介護保険事業の特徴

1 認定率

①



②



認定率（グラフ1-①）。調整済み認定率（グラフ1-②）ともに、全国平均及び熊本県平均よりもやや低い値となっております。

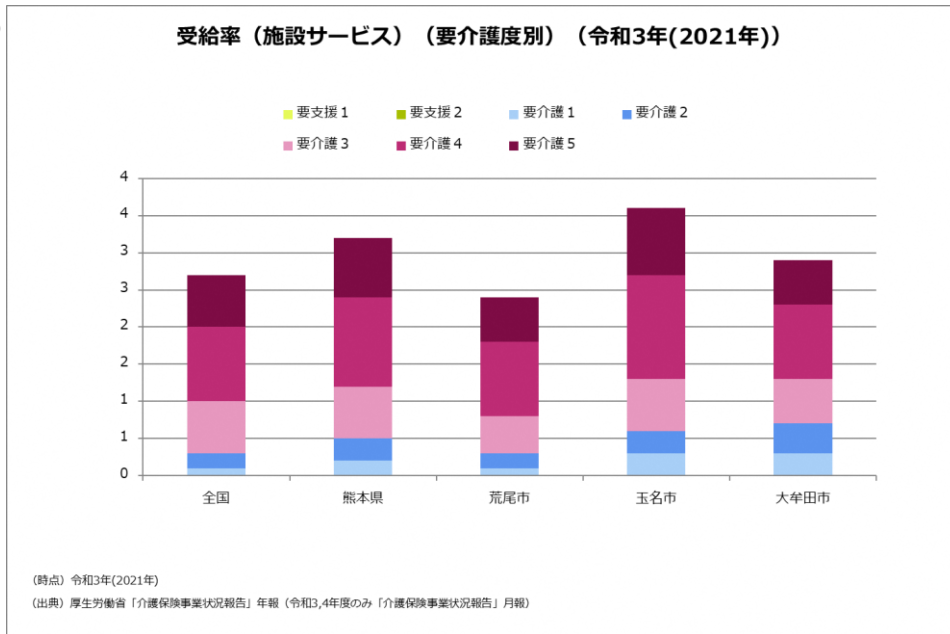
また、認定率は、近隣市と比較しても低くなっており、本市における介護認定の適正化の取り組みが機能していると言えます。

※調整済み認定率

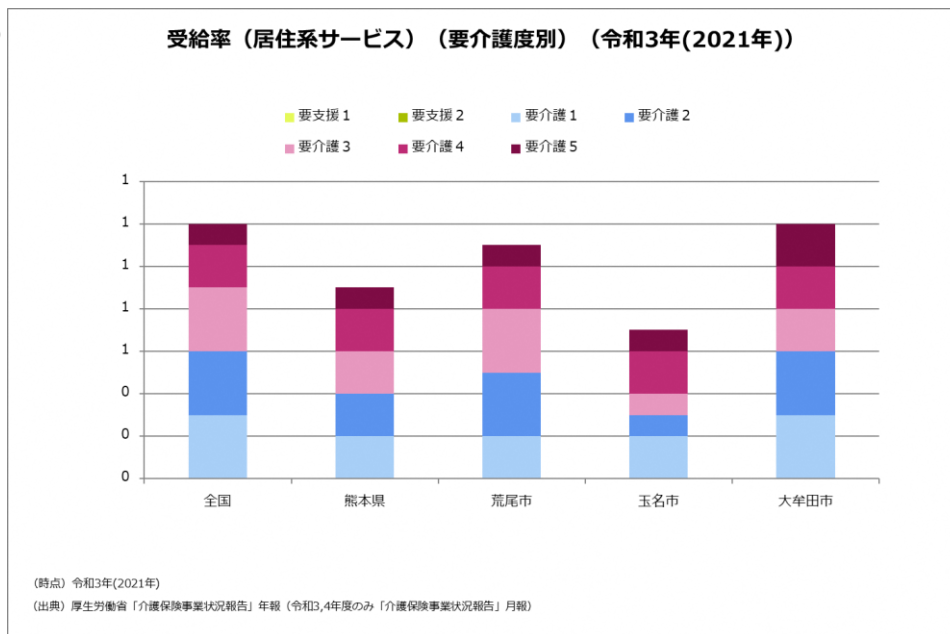
認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別構成」の影響を除外した認定率のことです。一般的に後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることから、第1号被保険者の性・年齢別人口構成が同じになるように調整することで、地域間・時系列で比較がしやすくなります。

2 受給率

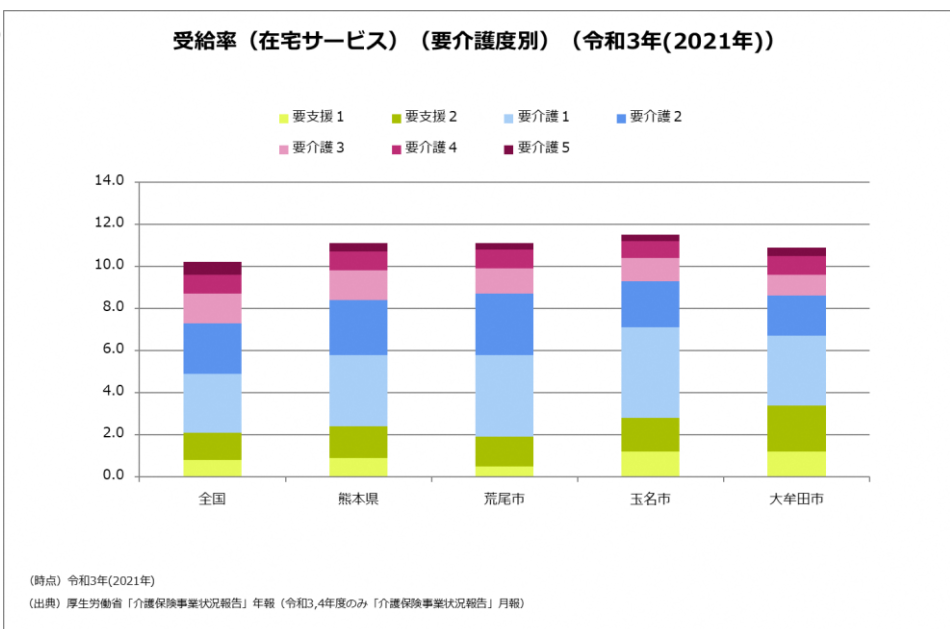
①



②



③



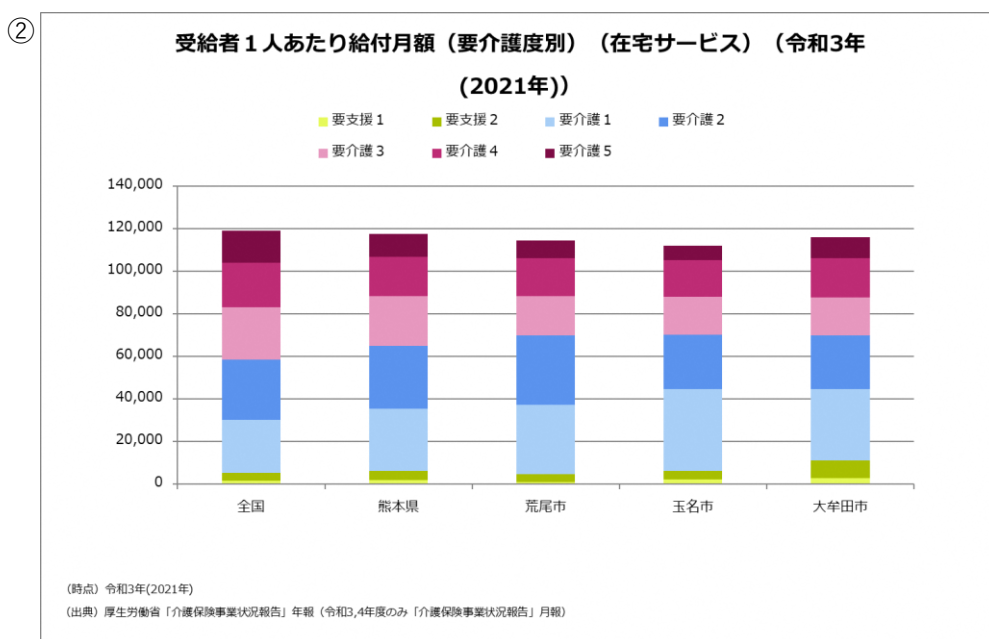
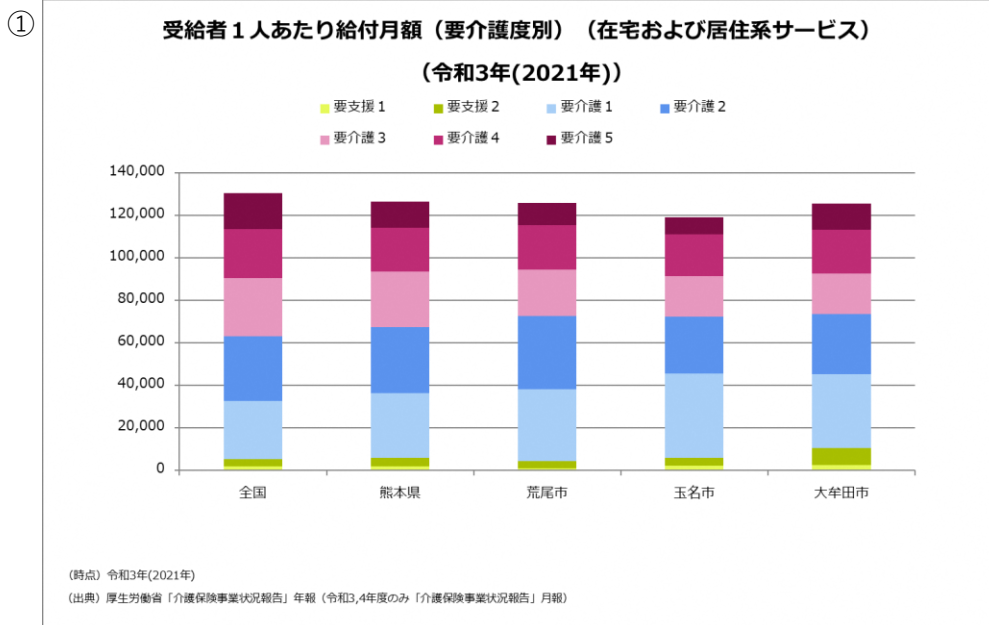
施設サービス（グラフ2-①）は、全国平均及び熊本県平均より、低い値となっております。

居住系サービス（グラフ2-②）は、全国平均よりは低いものの、熊本県平均より高い値となっております。

在宅サービスについては、全国平均より高いものの、概ね熊本県平均と同程度の値となっております。

本市においては、施設系サービスより在宅サービスの受給率が高いことから、要介護3以上の重度認定者と比較し、要介護2以下の軽度者の割合が多く、住み慣れた地域で在宅を拠点とした介護サービスを利用し、地域包括ケアの推進が図られていると言えます。

3 受給者1人あたり給付月額



受給者1人あたりの給付月額は、在宅及び居住系サービス（グラフ3-①）、在宅サービス（グラフ3-②）ともに、全国平均及び県平均よりもやや低くなっています。

給付月額が全国平均と比較しても、低い理由としては、本市で実施しているケアプラン点検や住宅改修の点検など給付適正化の取り組みを推進している効果が表れているものと思われます。